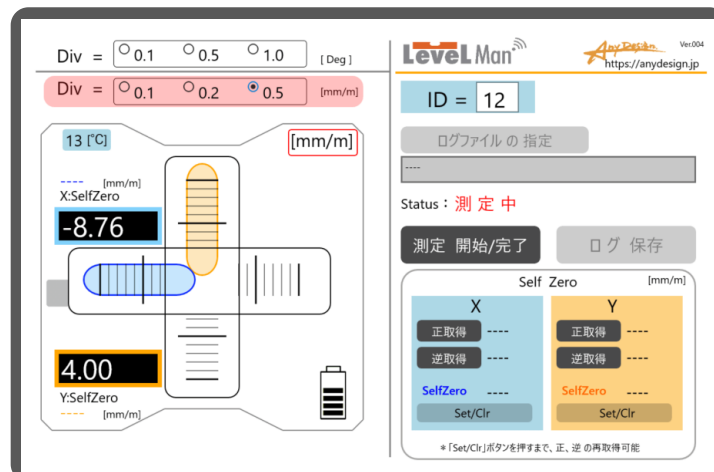


無線・デジタル精密水準器

Level Man<sup>®</sup>

# レベルマン ADL-Gシリーズ 付属・無線アプリケーション-G マニュアル

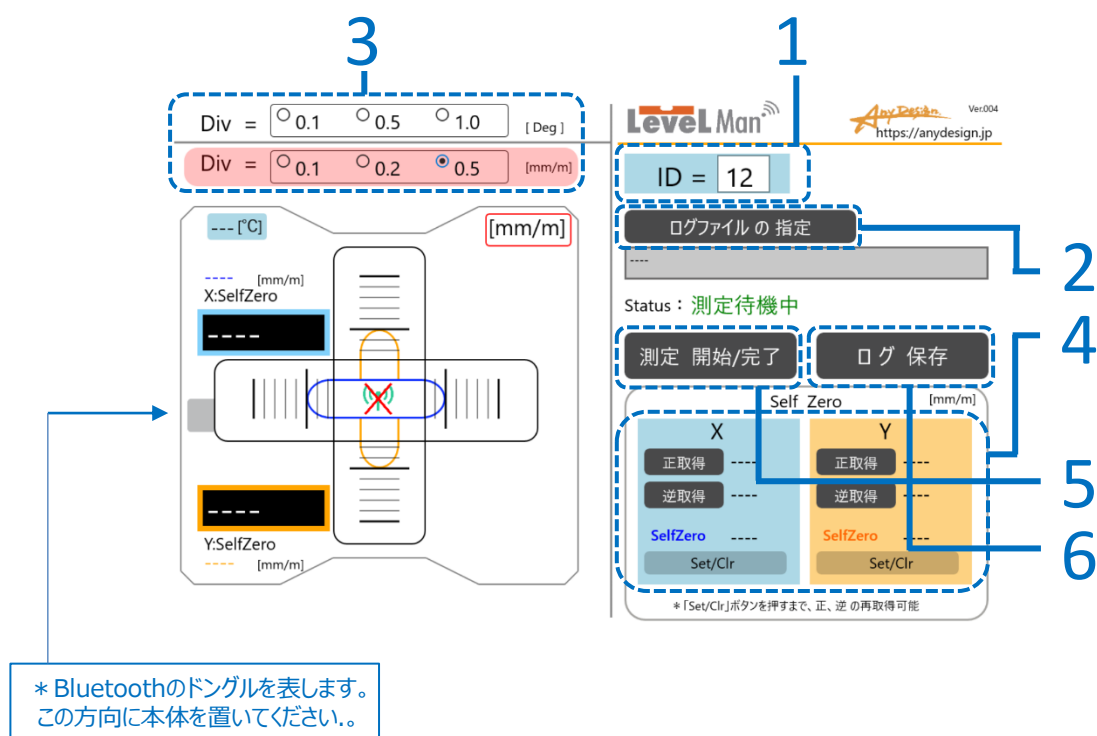


## はじめに

この度はADL-Gシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

- 本書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 正確な測定と末永いご愛用をお願いいたします。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

# かんたんガイド



## 1. LevelManのID番号を入力します。

\* ID番号は本体に貼られたラベルのシリアルナンバー下5桁の上位2桁の番号(赤字部分)になります。レベルマンADL-Gシリーズの例----S/N:4532**01**100

## 2. ログファイルを指定します。

\* あらかじめ、解凍したファイルの中から、「**LVLFree-G\_Log.csv**」をログの保存先のフォルダーに置きます。

\* このファイルを置かないとログファイルを作ることができません。

## 3. 使用する傾斜値の単位[deg]あるいは[mm/m]を選び、目盛感度を設定します。

## 4. 必要に応じてセルフゼロ(Self Zero)を行います。

\* 毎回行う必要はありません。180°反転で測定値が異なるなどの場合、セルフゼロを行って下さい。

## 5 測定を開始する/完了する。

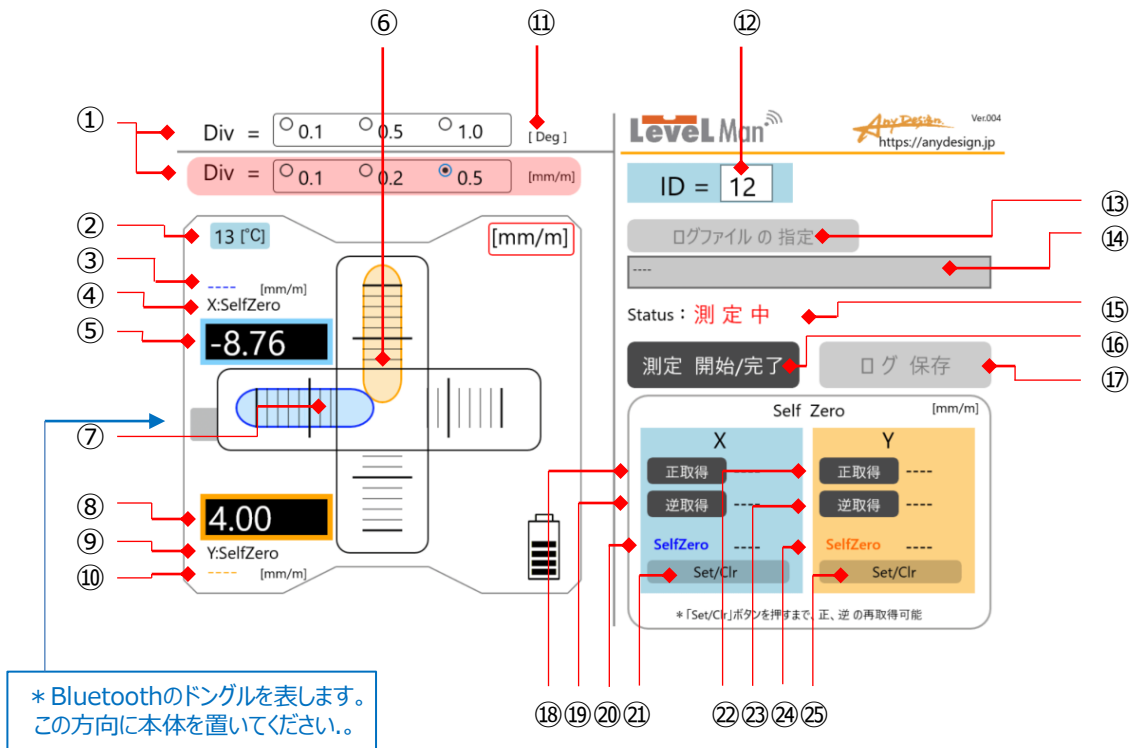
\* 4項の確認を行ってから傾斜角の測定を行って下さい。

## 6 ログを保存する。

# 目次

1.	画面各部の名称(1):通常画面	.....	4
2.	本体のID番号の設定	.....	5
3.	目盛感度の設定	.....	6
4.	ログのフォルダー設定	.....	7
5.	セルフゼロの設定と保存	.....	8
6.	測定とログの保存	.....	10
7.	画面各部の名称(2):通信切断時	.....	11
8.	画面各部の名称(3):バッテリー低下時	.....	12

# 1. 画面各部の名称(1):通常画面

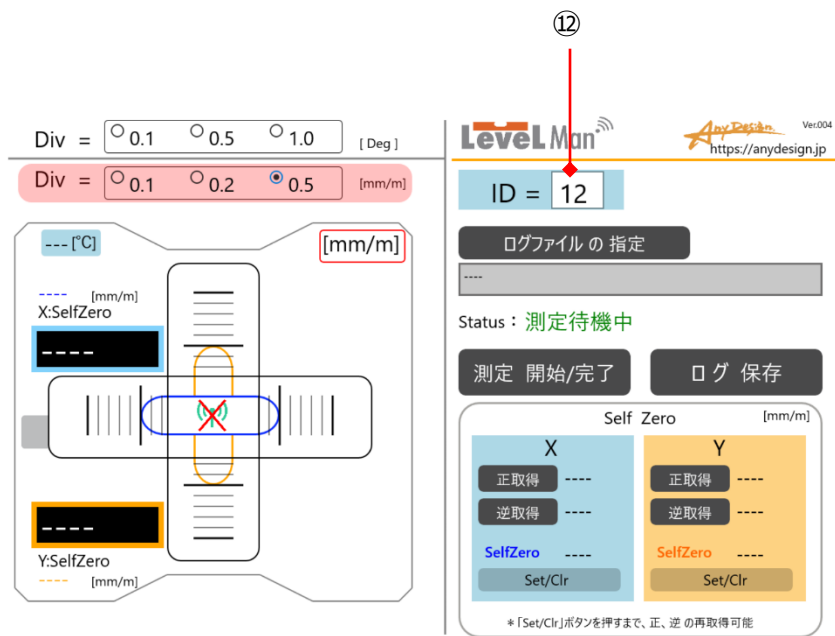


- ①使用する傾斜角の単位の選択 ([deg]あるいは[mm/m])とX、Yの水準器の目盛感度設定
- ②本体の内部温度表示
- ③X方向のセルフゼロ補正值を表示 [mm/m]でのみの表示
- ④ X方向のセルフゼロを表示
- ⑤ X方向の測定値を表示
- ⑥ 本体Xの気泡のグラフィック表示
- ⑦ Y方向の気泡のグラフィック表示
- ⑧ Y方向の測定値を表示
- ⑨ Y方向のセルフゼロを表示
- ⑩ Y方向のセルフゼロ補正值を表示 [mm/m]でのみの表示

- ⑪傾斜角の単位を表示
- ⑫本体のレベルマンのIDを入力
- \* ID番号入力に関してはP4参照
- ⑬ログの保存先のログファイルを指定するボタン
- ⑭ログの保存先のログファイルのフルパス表示
- ⑮現在のステータスを表示 「測定待機中」、あるいは「測定中」を表示
- ⑯[測定 開始/完了]ボタン(ボタンを押すと同時に開始、完了を繰り返す)
- ⑰[ログ保存]ボタン(測定中は無効)

- ⑱ X方向のセルフゼロ取得ボタン その右の欄に取得値を表示
- ⑲ X方向の180°反転後セルフゼロ取得ボタン その右の欄に取得値を表示
- ⑳ X方向のセルフゼロ補正值を表示
- ㉑ X方向のセルフゼロの補正值の [Set/Clr]ボタン
- ㉒ Y方向のセルフゼロ取得ボタン その右の欄に取得値を表示
- ㉓ Y方向の180°反転後セルフゼロ取得ボタン
- ㉔ Y方向のセルフゼロ補正值を表示
- ㉕ Y方向のセルフゼロの補正值の [Set/Clr]ボタン

## 2. 本体のID番号の設定

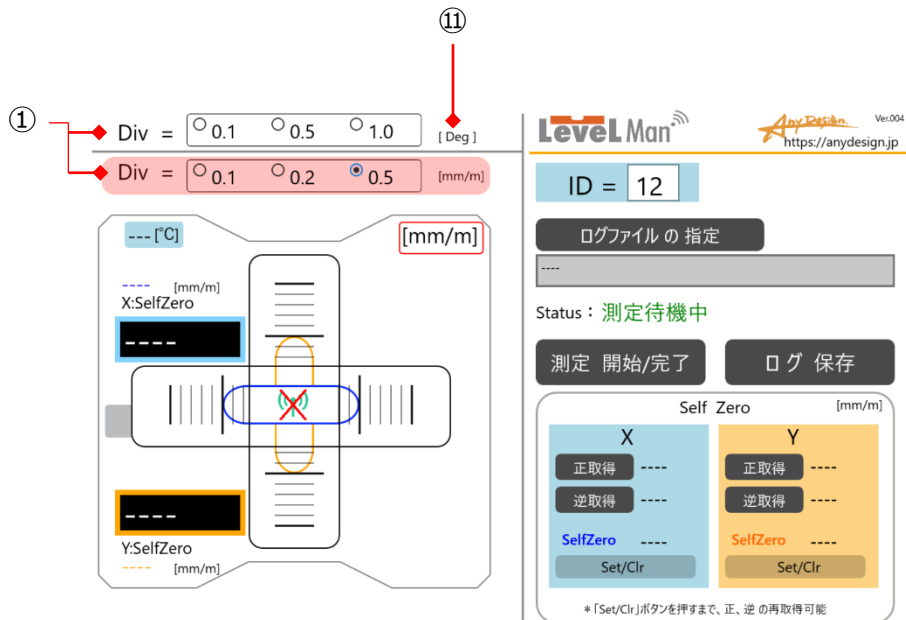


- 本体のID番号を入力します。
- ID番号は本体に貼られたラベルのシリアルナンバーの下5桁の上位2桁の番号(赤字部分)になります。

レベルマンADL-Gシリーズの例----S/N:453201100

⑫ 本体のIDを入力します。

### 3. 目盛感度の設定



- 目盛感度設定は画面の気泡移動量を設定します。  
これにより異なる感度の水準器のように動作します。

\* 本体のハードウェア仕様による分解能、測定範囲を変更するものではありません。

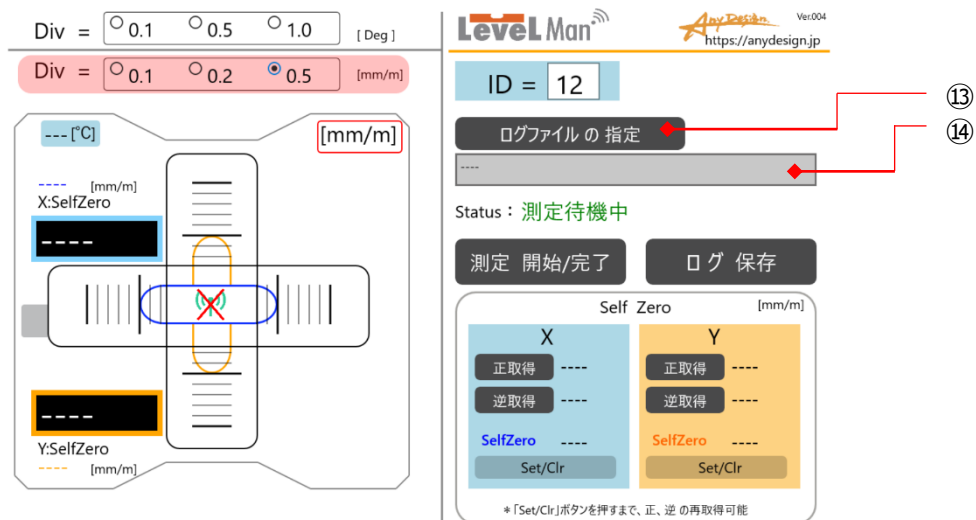
- ①使用する傾斜角の単位と目盛感度を選択します。単位[deg]あるいは[mm/m]と同時に、気泡表示の目盛感度の設定をします。

選択した単位（[deg]あるいは[mm/m]）の背景色がピンク色となります。

図では、単位[mm/m]、1目盛当たり0.2 [mm/m] が設定されています。

\*いつでも設定変更可能です。

## 4. ログのファイルの指定



### ■ 測定した結果・ログを保存するファイルを指定します。

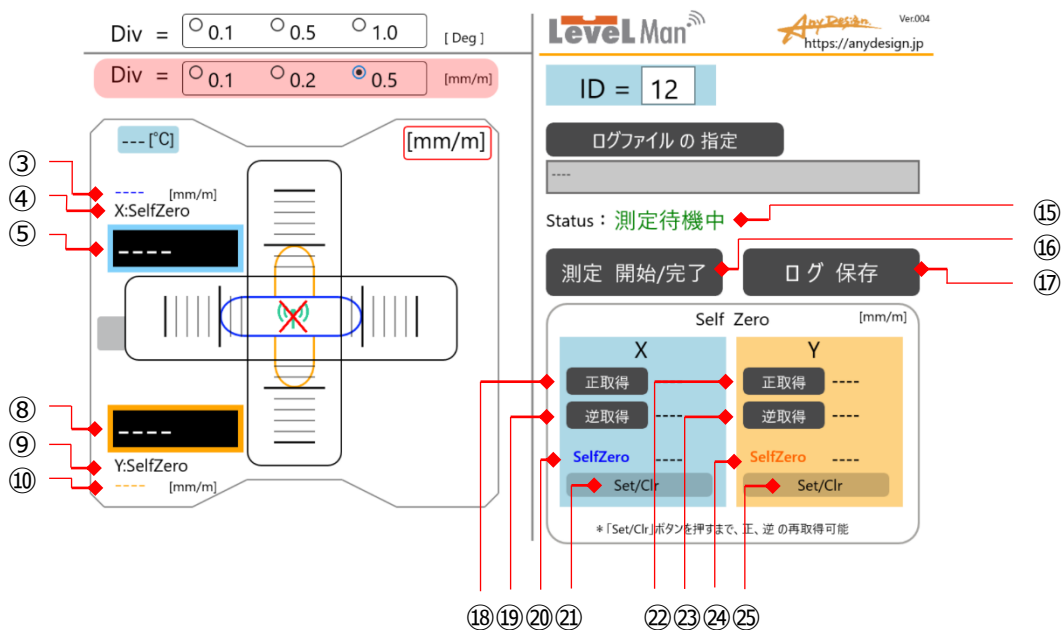
あらかじめ、解凍したファイルの中から、  
**「LVLFree-G\_Log.csv」**  
をログの保存先のフォルダーに置きます。  
\* このファイルを置かないとログファイルを作成できません。

その後、

⑬ [ログファイルの指定]ボタンを押し、ログの保存先のファイル、**「LVLFree-G\_Log.csv」**を指定します。

⑭ ログの保存先のファイルをフルパスで示します。

## 5. セルフゼロの設定と保存



- セルフゼロは本体の調整スレ分を180°反転法により、算出、保存します。この補正値をもとに、画面の測定値を自動補正します。

\* この補正値がアプリケーション側に保存されるので、電源ON後に、毎回セルフゼロを行う必要はありません。180°反転で測定値が異なるなどの場合にセルフゼロを行って下さい。

- (1) 静かに測定場所の上に置きます。

- ⑮「測定 開始/完了」ボタンを押し、測定を開始します。同時に⑭ステータス表示が「測定中」に変わります。

- ⑱ X方向と⑳ Y方向のセルフゼロの傾斜値を取得する[正取得]ボタンを押して、取得します。その右の欄に取得値が表示されます。㉑㉒ [Set/Clr]を押すまで、何度でも繰り返し再取得が可能です。

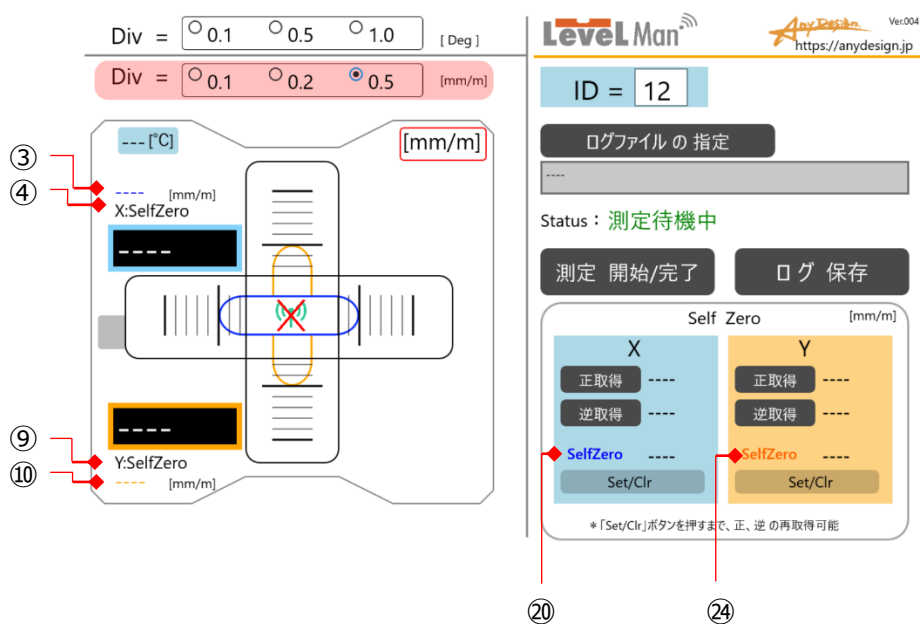
- (2) 本体を同一の場所で、静かに丁寧に滑らすように180°反転させます。

- ⑬ X方向と⑭ Y方向のセルフゼロの180°反転後の傾斜値を取得する[逆取得ボタン]を押して取得します。その右の欄に取得値が表示されます。⑮ [Set/Clr]を押すまで、何度でも繰り返し再取得が可能です。

- ②0 X方向と②4 Y方向のセルフゼロ補正値は、正方向、180°反転方向とも正しい値と判断した場合に②1②5「Set/Clr」を押すとセットされ、表示されます。

セルフゼロの補正值は②⑤「Set/Clr」を押せば、補正值はクリアされます。



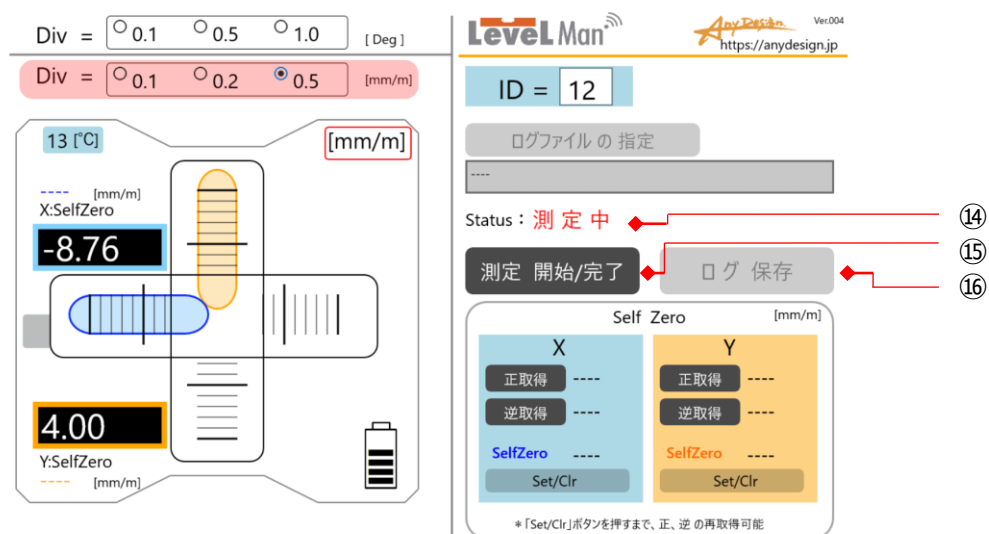


- \* 前記(1)、(2)の正取得、逆取得は何度でも行えます。複数回で、ほぼ同一か、確認して下さい。
- \* この値が毎回大きく異なる場合は、測定面に微細なゴミや油膜などが付着、挟み込みの可能性があります。
- \* 本体の正位置、逆位置は出来るだけ同一場所になるようお願いします。

### (3)その他の表示

- ③ X方向のセルフゼロの補正値の表示。  
(②④の数値を表示します。[mm/m]の表示のみ。)
- ④ X方向のセルフゼロを表示。
- ⑨ Y方向のセルフゼロを表示。
- ⑩ Y方向のセルフゼロの補正値の表示。  
(②④の数値を表示します。[mm/m]の表示のみ。)

## 6.測定とログの保存



### ■ 傾斜度を測定します。

⑮[測定 開始/完了]ボタンを押して測定スタート。

⑭現在のステータスを表示します。

測定をしていないとき「測定待機中」が表示されます。

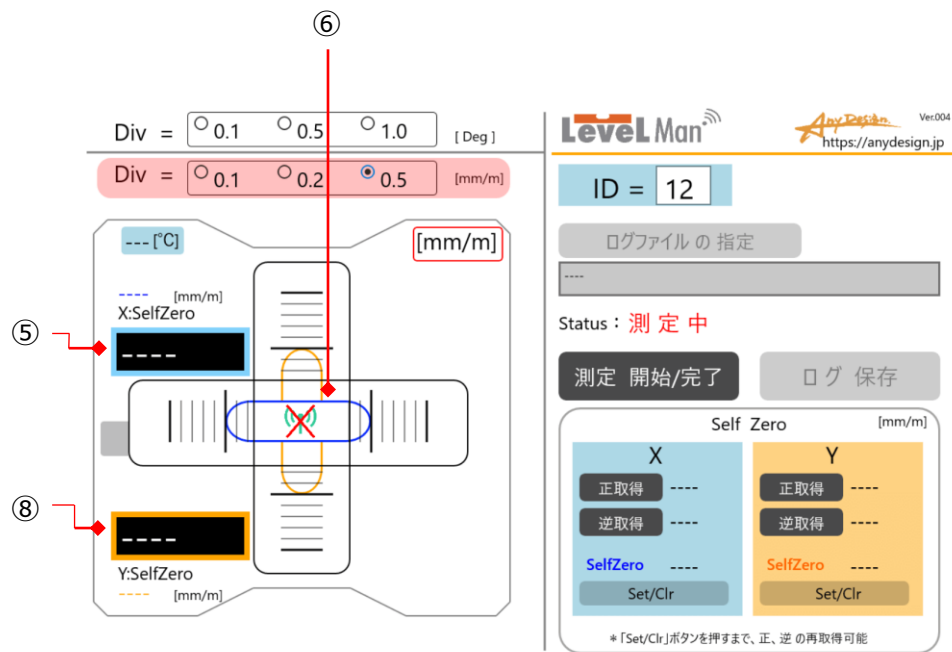
測定中は、「測定中」が表示されます。

⑮測定を完了したいときは、再度、[測定 開始/完了]ボタンを押し、完了します。

⑯[ログ保存]ボタンを押せば、そのデータがログ保存されます。

測定中は無効です。

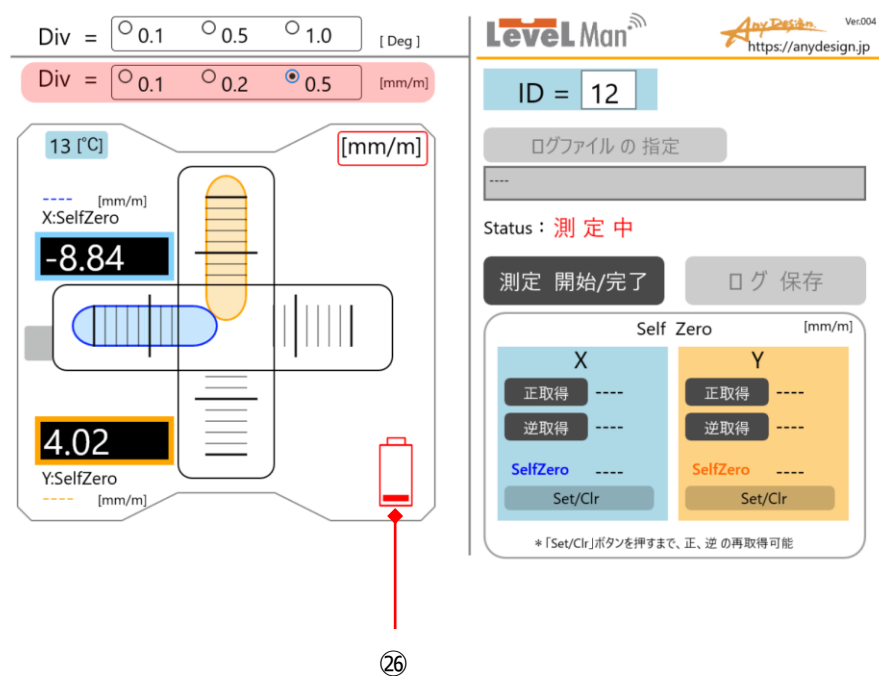
7. 画面各部の名称(2):通信切断時



⑥ 本体との通信切断時の気泡グラフィックの表示。

⑤ ⑧ 通信切断時は、データ受信無しのため「 \_ \_ \_ 」が表示されます。

## 8. 画面各部の名称(3):バッテリー低下時



②⑥ 本体のバッテリーの低下を表示。  
早めの電池交換をお願いします。

株式会社 Any Design  
(エニデザイン)

〒183-0014  
東京都府中市是政1-43-22  
TEL : 042-315-9801  
URL : <https://anydesign.jp/>